

2016年4月理事会議事録

日 時：2016年4月23日（土）13：00～15：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：高倉洋彰・石川日出志・白石浩之・大谷敏三・岡山真知子・小川 望・瓦吹 堅
・菊地芳朗・釦持輝久・佐古和枝・佐藤宏之・篠原和大・清家 章・大工原 豊
・橋口定志・橋本裕行・馬淵和雄・宮本一夫・長瀬 衛、監事：吉田哲夫・白井
久美子、（事務局：林 純子）

欠 席：大竹憲昭・唐澤至朗・河野一也・田中和彦・新納 泉

進 行：宮本一夫

議 長：高倉洋彰

宮本理事から、本日の出席者は21名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

宮本理事から、長崎県の永留久恵会員が2015年4月17日、宮城県の新庄屋元晴会員が2016年3月25日、長野県の上條朝宏会員が4月17日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第326号 2016年度予算について

大工原理事から、2015年度の決算書作成にあたり、繰越額が見込額より大幅に減額となることが判明したため、3月理事会議案第311号で承認された2016年度予算の修正提案があった。修正案は、主に旅費交通費・通信運搬費・印刷製本費等の支出を見直したとの説明があり、各事業には経費の削減が求められた。審議の結果、原案通り修正予算案を承認した。

議案第327号 第82回総会における会員からの審議依頼について

石川副会長から、京都府の山田邦和会員から第82回総会における審議事項として、『会報』第186号掲載の「日本考古学協会著作権規定案」について、「著作権規定」を「著作権規則」とし、総会で議決を求める議題が提出されたとの説明があった。審議の結果、審議依頼の内容に不備があり、また規則の制定についても理事会の決議事項であるため、総会の審議事項とはしないことで、承認した。

議案第328号 沼津市への返書（案）について

篠原理事から、3月理事会議案第318号で審議した「高尾山古墳の保存・活用に関するお願い」についての沼津市への返書案が提示された。協議の結果、原案通り承認されたことから、早急に沼津市へ送付することとなった。

議案第329号 平成28年度岩宿文化賞選考委員の推薦依頼について

長瀬常務理事から、群馬県みどり市から岩宿文化賞選考委員の推薦依頼がある旨の報告があり、検討の結果、大竹理事を推薦することを承認した。

議案第330号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選考について

橋口理事から、岐阜県を除く都道府県の委員名簿が提示され、岐阜県の委員は選考中であること、その他人数が不足している都道府県については適任者を順次推薦することが説明され、審議の結果、原案を承認した。

議案第331号 研究環境検討委員会委員の選考について

小川理事から、今期で3名の委員が任期満了に伴い退任するため、新たに小倉淳一会員、谷口 榮会員の2名を委員として推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。なお、適任者が見付かり次第、順次補充する予定である。

議案第332号 機関誌『日本考古学』編集委員の選考について

篠原理事から、今期で2名の委員が任期満了に伴い退任するため、新たに小林謙一会員、松木武彦会員の2名を委員として推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。

議案第333号 機関誌『日本考古学』投稿規定の一部改正について

篠原理事から、現在の「一般社団法人日本考古学協会著作権規定案」が制定された場合、機関誌『日本考古学』の投稿規定、並びに執筆要項・原稿送り状書式等の修正が必要となる旨の説明があり、投稿規定の改訂案が提示された。審議の結果、一部修正の上、著作権規定の制定に合わせて、改正することで承認した。

議案第334号 退会の承認について

瓦吹理事から、埼玉県のみ会員、千葉県のみ会員、長野県のみ会員、京都府のみ会員、大分県のみ会員から2015年度をもつての退会届け、埼玉県のみ会員、千葉県のみ会員、山口県のみ会員からは2016年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第455号 理事選挙について

瓦吹理事から、4月2日（土）に第3回選挙管理委員会を開催して開票作業を行い、23名の理事と次点者1名を選出したこと、投票率は24.5%であったとの報告があり、了承した。

報告第456号 2016年度新入会員について

瓦吹理事から、2016年度新入会員資格基準該当者に対し、会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2016年度新入会員の入会資格審査は、申込み総数68名、うち2名が資格基準に該当せず、66名が内定者となり、5月28日の第82回総会にて承認を受けるかたちとなったことが報告され、了承した。

報告第457号 第82回総会について

佐藤理事から、「総会実施要項」に基づき、日程並びに理事の役割分担の確認があった。また、新たに実施する高校生ポスターセッションについて表彰時間等の確認が行われ、了承した。

報告第458号 第10回公開講座報告

大竹理事・河野理事が欠席のため小川理事から、3月19日（土）開催の第10回公開講座について、124名の参加を得たこと、詳細な当日の発表内容についての報告があり、了承した。

報告第459号 公式サイトリニューアルについて

小川理事から、公式サイトのリニューアルの進捗状況について説明があり、①作成中の箇所については、完成次第、順次公開していくこととし、現在完成している部分については、5月総会前の運用開始を目指す。②各委員会に、担当箇所の活動に関するリード文の作成が要請され、了承した。

報告第460号 総務会事業報告（2014・2015年度概要）

佐藤理事から、2015年度総務会事業報告、並びに継続事業については2014年度からの事業報告が行われ、理事会議事の事前整理・調整を総務会で行ったこと、アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル参加の経過等が報告され、了承した。

報告第461号 英文機関誌JJAの中間評価について

宮本理事から、科学研究費助成事業の中間評価が行われ、日本考古学界初の英文ジャーナルとして、国際情報の発信に寄与していることについて高い評価を得た。また、指摘を受けた投稿数については次号の掲載数は増加予定であることが報告され、了承した。

報告第462号 国際交流委員会報告並びに2015年度事業報告

橋本理事から、4月10日（日）に2016年度第1回委員会を開催し、①今年度の「第10回アジア考古学四学会合同講演会」は「アジアの星（仮題）」をテーマに、2017年2月25日（土）ないしは26日（日）に早稲田大学に於いて開催を予定している。②第8回世界考古学会議（WAC-8）の「日本考古学フェア」で行うポスターセッションについて内容を検討し、埋文委に文化財保護への取り組みを紹介するポスターの作成が依頼された。③英文機関誌編集委員会との交流について、調整を行うとの報告があった。

また、2015年度事業報告として、英文コンテンツの作成事業・アジア考古学四学会合同講演会を行った旨の資料が提示され、了承した。

報告第463号 研究環境検討委員会報告並びに2015年度事業報告

篠原理事から、4月9日（土）に2016年度第1回委員会を開催し、第82回総会時のポスターセッションについて検討した。

続けて、2015年度事業報告並びに2016年度事業計画について説明があり、2015年度は後

継者育成問題について、2014年度後半に実施したアンケートの分析等を中心に取り組んできたこと、2016年度も更にアンケートの詳細な分析を進め、引き続き検討を進める予定であるとの説明があり、了承した。

報告第464号 東日本大震災対策特別委員会2015年度事業報告

菊地理事から、2015年度事業報告について、①被災地における復興調査状況の把握、②東日本大震災復興事業に伴う発掘調査の成果報告会の開催、③文化遺産防災ネットワーク推進会議への参加、④2016年度の報告書作成に向け被災地行政機関・職員派遣機関・派遣職員へのアンケート等を主に実施したとの説明があり、了承した。

報告第465号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

橋口理事から、2016年4月幹事会を開催し、①第82回総会におけるポスターセッションについて検討を行った。②埋蔵文化財保護対策委員の改選にあたるため新体制について協議した。③保存要望書を提出した鎌倉市円覚寺西側結界遺構について、岩塊の削平計画が進んでいることから、保存要望書を再度提出する準備を進めていることが報告され、了承した。

報告第466号 陵墓2015年度事業報告

清家理事から、2015年度事業報告について、①宮内庁書陵部との陵墓懇談、②事前調査見学・立会調査見学の実施、③立入り観察を実施したことが報告された。また、陵墓をめぐる動向として、陵墓の公開が進む方向性であり、注視していくとの説明があり、了承した。

報告第467号 広報委員会2015年度事業報告

馬淵理事から、2015年度の事業報告があり、世界的なIT化への対応・公式サイト管理体制・広報活動のマニュアル化等について検討したとの説明があり、了承した。

報告第468号 会員資格の喪失について

瓦吹理事から、2013年度～2015年度会費30,000円の滞納により下記の3名が会員資格を喪失したとの報告があり、了承した。なお、滞納会費の督促については継続する。

* (山形県)、* (福島県)、* (大阪府)

その他

(1) 平成28年熊本地震に関する対応措置について

高倉会長から、2016年4月に発生し余震が続いている平成28年熊本地震について、①被災会員への対応は、「一般社団法人日本考古学協会規則」第12条、並びに「会費免除期間の基準」に基づき、会費免除を行う。②九州・沖縄地区選出の宮本一夫理事・新理事予定の熊本県の杉井 健会員を中心に、埋蔵文化財保護対策委員会の熊本県委員3名・大分県委員2名・福岡県委員1名を構成メンバーとする「平成28年熊本地震文化財対策準備会(仮称)」を設置し、現地の被災状況等の把握を行い、今後の対応を検討するとの説明があった。

(2) 名誉会員・水山会員の総会での表彰について

長瀬常務理事から、①第82回総会の審議事項である名誉会員について、表彰は代理者の出席をお願いしているとの説明があった。②長年、公式サイトを作成・管理を担っていた水山昭宏会員に対して感謝状を贈呈する旨の説明があり、了承した。

(3) 高校生ポスターセッション参加賞及び表彰について

高校生ポスターセッションについて、参加賞・副賞の説明があった。

(4) 新旧理事の引継書について

高倉会長から、理事改選にあたり円滑な業務引継を行うために、各理事に対して引継書の作成に遺漏のないよう指示があった。

以 上